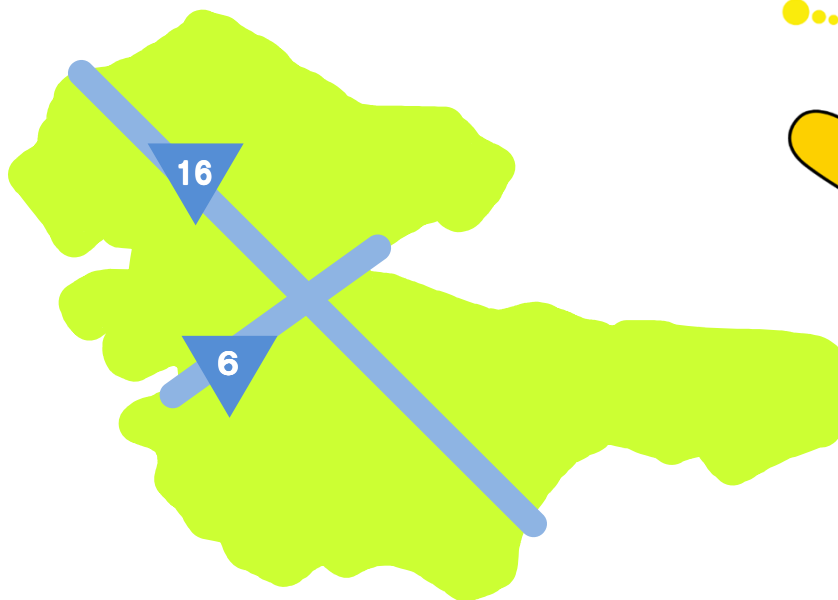


平成30年度

柏市の わかりやすい 予算



予算の「仕組み」と「主な事業」

平成23年度から、予算の概要をわかりやすく解説した「柏市のわかりやすい予算」を発行しています。市役所が法律に沿って作成する予算書は、一般的に聞きなれない用語や数字が整然と並んでいてわかりにくい作りとなっているため、この冊子では、表やグラフを交えながら、わかりやすくお知らせすることを心掛けています。

予算とはお預かりした税金をどのように使うかを決めることです。市が行う事業はたくさんありますが、限られた財源の中で、必要性や優先順位を考えながら事業を選択しています。

この「わかりやすい予算」を通して、どんな事業が行われているか、どれくらいの費用がかかっているかを知っていただき、今まで以上に市政に関心をもっていただきたいと思います。その上で、「この事業は、こんなに費用がかかっているなら問題だ」、「この事業の費用を、あの事業に回したほうが全体としては望ましい」などの具体的で建設的な議論につながることを期待しています。

平成30年3月
柏市長 秋山 浩保

— 目次 —

基礎知識～予算とは～	1
歳入	4
歳出	6
平成30年度予算編成のポイント	9
平成30年度の主な事業	10
資料集	17

詳しくは市ホームページで見ることができます。

<http://www.city.kashiwa.lg.jp/soshiki/040100/p043998.html>





基礎知識 ～予算とは～



予算って、何ですか？

予算とは、1年間の収入と支出を見積もることです。

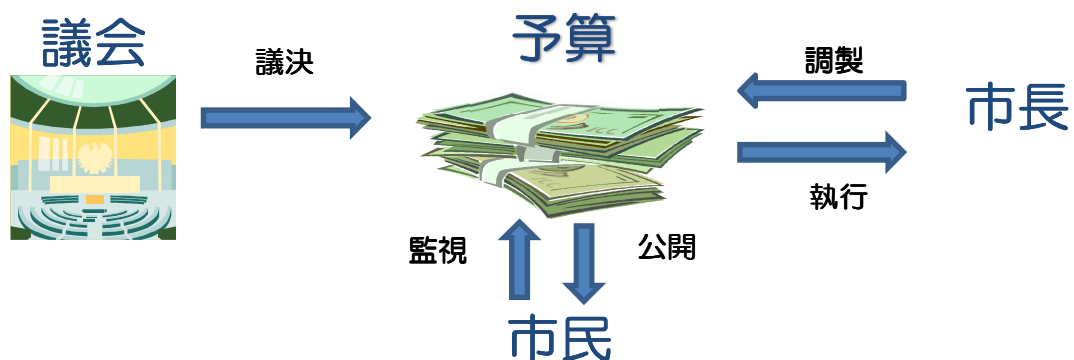
新しい年度が始まる前に、1年間（4月から翌年の3月まで）にどのくらいの収入があるか、その収入をもとにして、どのような行政サービスを行うのかを計画し、その費用を見積もります。これらの内容をまとめたものが予算書です。柏市に入ってくるお金のことを「歳入」、使うお金のことを「歳出」と呼んでいます。



予算は、誰が決めるの？

市長が予算案を作り、市議会へ提出します。そして、市議会の審議と議決によって、予算が成立します。

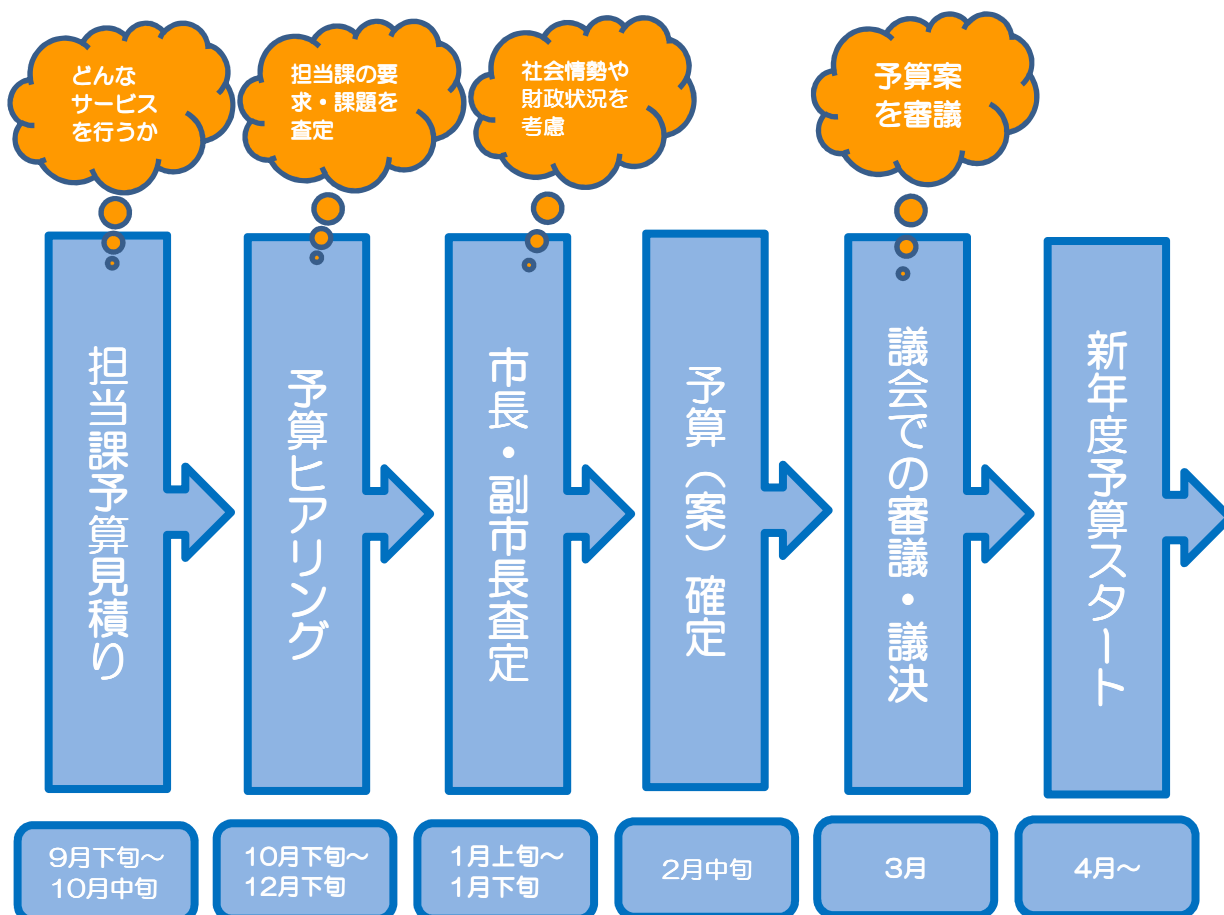
市長は、各担当部署の案を自分の考えにそって予算案としてまとめ、市議会に提案します。市民を代表する市議会議員は、提案された予算案をいろいろな面から審議した上で、市議会の議決により予算を決めます。





予算ってどうやって決まるの？

新年度の予算が決まるまでには、半年以上かかります。担当課は事業の課題を解決したり、新しい事業を実施するための予算を要望します。これを査定担当部局は、社会情勢や財政状況などを考慮し、実際にどのくらいのお金が必要なのか検討します。お金が足りない場合は優先順位をつけることも重要となります。



一度決めた予算は、変えられないの？

変えられます。補正予算といって、6月、9月、12月、3月の議会で変えることができます。

社会情勢の変化等により当初見積もった経費に見直しが必要となった場合は、変更する予算案をつくり当初予算と同じように市議会へ提出します。

例えば… 平成30年3月には小中学校の施設整備事業や区画整理事業、基金の積立てなどで約28億円を増額しました。



各会計の予算規模は、どのくらいあるの？

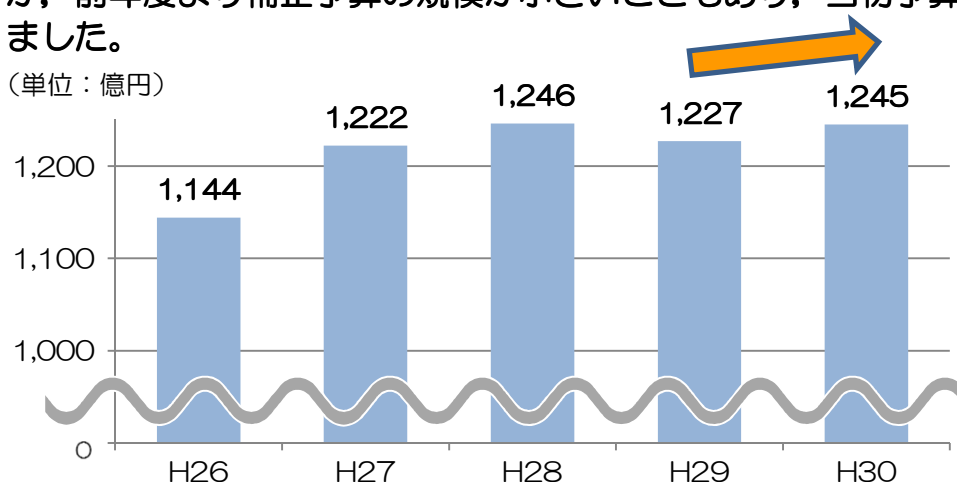
平成30年度は、次の金額を計上しています。

区分		予算額	前年度比 (増減額)	事業内容
一般会計		1,244億6,000万円	17億3,000万円	
特別 会計	国民健康保険事業	387億7,700万円	△93億6,500万円	柏市の国民健康保険に加入している方の医療費を給付
	公設市場事業	7億4,000万円	△3億5,900万円	公設市場の管理運営
	駐車場事業	-	△2億1,100万円	柏駅東口の市営駐車場の管理運営（平成30年度より特別会計から一般会計へ移行）
	介護老人保健施設事業	1億9,500万円	△2,100万円	介護老人保健施設「はみんぐ」の管理運営
	介護保険事業	262億8,600万円	2億800万円	65歳以上の要介護・要支援者の方への保険給付
	北柏駅北口土地区画整理事業	13億3,200万円	8,000万円	北柏駅北口の土地区画整理事業を実施
	学校給食センター事業	4億7,000万円	1,800万円	旧沼南地域の小中学校（11校）に給食を提供
	母子父子寡婦福祉資金貸付事業	4,800万円	900万円	母子父子寡婦の方への貸付け
	後期高齢者医療事業	51億5,000万円	4億8,900万円	75歳以上の方の医療費を給付
企業 会計	病院事業	5億9,982万円	△1,455万円	市立柏病院の管理運営
	水道事業	124億2,620万円	△5億7,880万円	水道水の供給及び水源・水道管の整備・維持管理
	下水道事業	171億3,100万円	4億7,500万円	雨水・汚水管の整備及び維持管理

■一般会計予算額の推移

平成30年度予算は、平成29年度補正予算と一体的に編成していますが、前年度より補正予算の規模が小さいこともあり、当初予算は増加しました。

(単位：億円)





歳入



一般会計には、どのような歳入があるの？

一般会計の歳入には、市税や国・県からの補助金、銀行からの借入れや施設の使用料などがあります。

■一般会計歳入予算

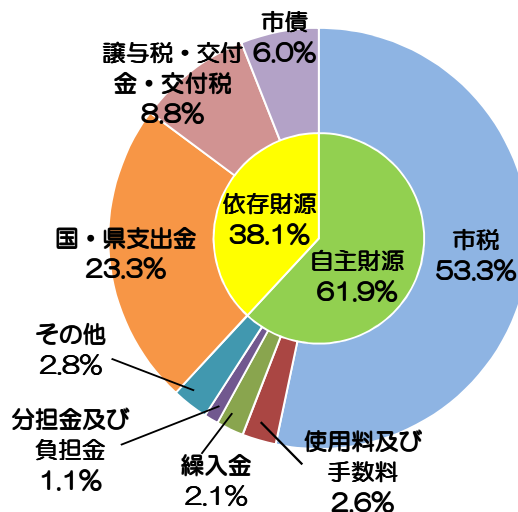
項目	説明	金額	前年度比 (増減額)
自主財源	市が自主的に調達できる収入のことです。	770億6,907万円	△7億6,278万円
市税	皆さまが柏市に納めた税金です。	663億6,000万円	3,900万円
分担金及び負担金	事業にかかる経費の一部を受益の程度に応じて利用者に負担していただいているお金です。	13億7,804万円	3,353万円
使用料及び手数料	施設の利用や証明書を発行する際にいただいているお金です。	31億7,579万円	8,706万円
繰入金	各種基金（貯金・運用資金）を取り崩して使うお金です。	26億3,399万円	△6億5,071万円
その他	寄附金、不動産売り払いなどの財産収入、諸収入、前年度からの繰越金などです。	35億2,125万円	△2億7,166万円
依存財源	国や県から交付されたり、割り当てられる財源や市債（借金）のことです。	473億9,093万円	24億9,278万円
譲与税・交付金・交付税	皆さまが国に納めた税金の一部です。使いみちは決められていません。	109億3,500万円	4億2,000万円
国・県支出金	皆さまが国に納めた税金の一部です。使いみちは決められています。	289億6,603万円	21億8,978万円
市債	銀行などからの借入れ（借金）です。	74億8,990万円	△1億1,700万円
計		1,244億6,000万円	17億3,000万円



ここがポイント

6割が自主財源

自主財源が多いほど、財政が安定し、自主的な事業をより多く行うことができます。自主財源の多くは市税です。このため、定住促進や企業誘致を推進し、経済の活性化に取り組む必要があります。

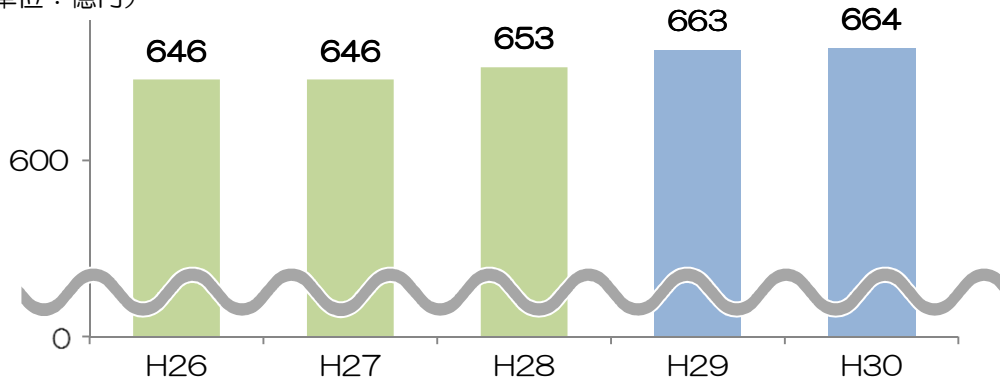




柏市の税収は、増えているの？

人口増等の影響により個人市民税の増収を見込む一方、法人市民税が減収の見込みとなることから、昨年度とほぼ同水準で推移しています。

(単位：億円)



※平成28年度までは決算額，平成29年度からは予算額の数値です。



ここがポイント

2つの要因

- ① 個人市民税：人口増等により4億7,600万円の増
- ② 法人市民税：マイナス金利の影響等により3億5,400万円の減



柏市に入る税収は、何種類あるの？

柏市に直接入る税（市税）は、7種類あります。

■市税の種類

項目	説明	金額	前年度比 (増減額)
個人市民税	市民の方が給与などの所得に応じて納める税です。	280億5,100万円	4億7,600万円
法人市民税	柏市内の会社が収益などに応じて納める税です。	39億8,700万円	△3億5,400万円
固定資産税	土地や家屋などを所有している方が納める税です。	248億8,600万円	7,700万円
軽自動車税	軽自動車などを持っている方が納める税です。	4億8,000万円	3,200万円
市たばこ税	たばこを買った方が納める税です。	22億4,800万円	△2億7,600万円
事業所税	市内の一定規模以上の会社が納める税です。	14億7,700万円	6,500万円
都市計画税	市街化区域に土地や建物を持っている方が納める税です。	52億3,100万円	1,900万円
計		663億6,000万円	3,900万円



歳出

【目的別】



どんな分野（目的）の歳出があるの？

民生、土木、教育などの分野に分けて支出します。

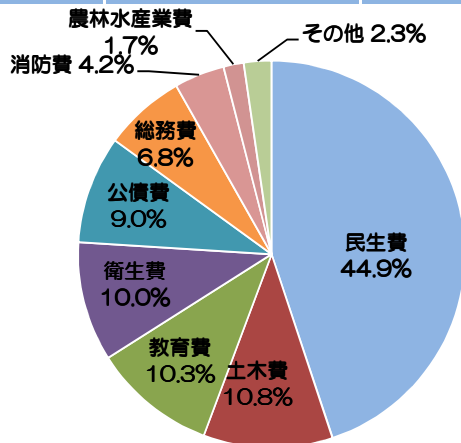
■一般会計歳出予算（目的別）

項目	説明	金額	前年度比 (増減額)
議会費	議員の報酬や議会事務局職員の人件費、議会運営などに使う経費です。	6億9,341万円	3,314万円
総務費	庁舎などの管理、財政管理、市税の賦課徴収、戸籍など市役所の全般的な仕事に使う経費です。	85億135万円	△15億9,257万円
民生費	児童、高齢者、心身障害者などの支援や生活保護などに使う経費です。	559億3,596万円	19億2,779万円
衛生費	医療、公衆衛生、精神衛生、ごみなどの一般廃棄物の収集処理などに使う経費です。	124億4,524万円	5億2,723万円
労働費	労働者の福祉向上や就労支援などに使う経費です。	7,047万円	△739万円
農林水産業費	農林漁業の振興、技術の普及などに使う経費です。	21億5,913万円	11億4,846万円
商工費	商工業の振興、中小企業の育成、企業誘致などに使う経費です。	17億8,494万円	△7,102万円
土木費	道路、河川、住宅、公園などの公共施設の整備や維持管理に使う経費です。	133億8,671万円	11億4,626万円
消防費	火災、風水害、地震等の災害から市民を守るための経費です。	51億6,935万円	6,752万円
教育費	学校の建設・管理、生涯学習、文化財保護など教育行政に使う経費です。	128億5,164万円	△11億9,564万円
公債費	事業を行うために国や金融機関から借り入れた市債（借金）の返済金です。	111億6,173万円	△2億5,371万円
諸支出金	他の支出科目に含まれない経費をまとめたものです。	7万円	△7万円
予備費	緊急に支出を必要とする場合に備えて用意しているお金です。	3億円	0
計		1,244億6,000万円	17億3,000万円



ここがポイント

農林水産業費は、手賀沼アグリビジネスパーク事業費が増加したことで前年度より増額しています。また、民生費は社会保障関係経費の伸びを見込んだことで前年度より増額となり、全体の4割以上を占めています。



【性質別】



どんな性質の経費に分類できるの？

歳出は、人件費などの性質別に分けると、違った観点から特徴を見ることができます。

■一般会計歳出予算（性質別）

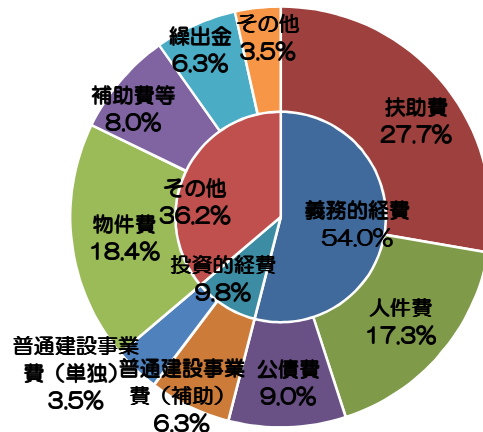
項目	説明	金額	前年度比 (増減額)
義務的経費	毎年必ず支出しなければならない経費です。	672億6,233万円	12億1,866万円
人件費	職員の給料などに使う経費です。	215億7,385万円	△6億1,592万円
扶助費	生活保護費、障害者支援費などの福祉や医療に使う経費です。	345億2,695万円	20億8,829万円
公債費	事業を行うために国や金融機関から借り入れた市債（借金）の返済金です。	111億6,153万円	△2億5,371万円
投資的経費	道路、学校などの建設や大規模改修など都市基盤の整備にかかる費用です。	121億5,356万円	3億2,744万円
普通建設事業費（補助）	普通建設事業のうち国からの補助があるものです。	78億326万円	2億7,561万円
普通建設事業費（単独）	普通建設事業のうち国からの補助がないものです。	43億5,030万円	5,183万円
その他の経費		450億4,411万円	1億8,390万円
物件費	光熱水費、消耗品費、通信運搬費、委託料などです。	229億2,931万円	10億9,620万円
維持補修費	施設の維持管理に使う経費です。	12億5,857万円	1億4,628万円
補助費等	一部事務組合に対する負担金などです。	99億2,617万円	1億7,228万円
積立金	各種基金（貯金・運用資金）への積立金です。	1億832万円	△4億679万円
投資・出資金	北千葉広域水道企業団・病院事業会計・下水道事業会計に対する出資金です。	13億7,648万円	2,172万円
貸付金	中小企業融資資金預託金など市が一時的に貸し出す経費です。	13億4,743万円	△5,000万円
繰出金	特別会計の収入を補うための経費です。	77億9,783万円	△7億9,579万円
予備費	緊急に支出を必要とする場合に備えて用意しているお金です。	3億円	0
計		1,244億6,000万円	17億3,000万円



ここがポイント

必ず支出しなければならない義務的経費が、5割を超えています。

平成30年度は、普通建設事業費約10億円について、平成29年度補正予算への前倒しを行い、一体的に編成しています。





市民1人当たり，いくら使われているの？

市民1人当たり，約30万円になります。

(平成30年3月1日現在の常住人口：421,864人)

■一般会計歳入予算

項目	金額(円)
市税	157,302

■一般会計歳出予算(目的別)

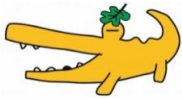
項目	金額(円)
議会費	1,644
総務費	20,152
民生費	132,592
衛生費	29,501
労働費	167
農林水産業費	5,118
商工費	4,231
土木費	31,732
消防費	12,254
教育費	30,464
公債費	26,458
諸支出金	0
予備費	711
計	295,024

■一般会計歳出予算(性質別)

項目	金額(円)
義務的経費	159,441
人件費	51,139
扶助費	81,844
公債費	26,458
投資的経費	28,809
普通建設事業費(補助)	18,497
普通建設事業費(単独)	10,312
その他の経費	106,774
物件費	54,353
維持補修費	2,983
補助費等	23,529
積立金	257
投資・出資金	3,263
貸付金	3,194
繰出金	18,484
予備費	711
計	295,024

★ ここがポイント

柏市に納めた税金約16万円に，国・県の補助金などを加えた金額を財源として，市民1人当たり約30万円の事業が行われます。



平成30年度予算編成のポイント

柏市が特に力を入れること

第五次総合計画の3つの重点目標の施策について優先的に取り組みます。

【充実した教育が実感でき、子どもを安心して産み育てられるまち】

- ◆学びづくりフロンティアプロジェクトの推進 ⇒算数支援教員を新規配置
- ◆国際理解教育に関する事業の推進
- ◆私立認可保育園・認定こども園の整備 ⇒5園整備
- ◆保育士等処遇改善・宿舍借上げ支援補助
- ◆子育て世代包括支援センターの拡充

【健康寿命を延ばし、いつまでもいきいきと暮らせるまち】

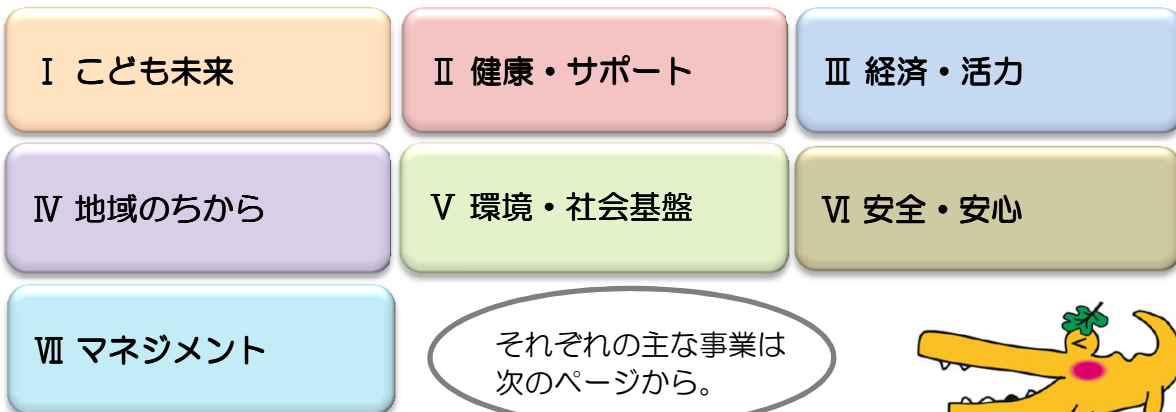
- ◆介護予防事業⇒フレイル予防の推進
- ◆がんの早期発見⇒検診メニューの拡充
- ◆障害者の地域生活を支える拠点機能の整備

【地域の魅力や特性を活かし、人が集う活力あふれるまち】

- ◆柏駅周辺地域の活性化⇒公民学連携によるまちづくりの推進
- ◆柏北部地域のまちづくりの推進
- ◆手賀沼アグリビジネスパーク事業の推進

総合計画に掲げる施策

第五次総合計画では、次の分野毎に各施策を位置づけています。





平成30年度の主な事業

〇〇〇〇〇〇事業		PXX	予算説明書（市ホームページで公表）のXXページに掲載 国や県，その他機関からの補助金・交付金・負担金など 将来にわたって返済していくお金 市税や使用料など柏市の自主財源 事業の概要	
	担当課	〇〇課		
	事業費	XXX万円		
	財源	補助		XXX万円
		借金		XXX万円
		市		XXX万円

ここにあげた事業以外にも、市民の皆さまが納めた税金を使ってどのようなサービスを行うのかについては、予算案の概要（市ホームページで公表）で見ることができます。

I こども未来



拡大

拡大

学びづくりフロンティアプロジェクト		P453~455・462	
担当課	学校教育課／指導課／教職員課／教育研究所		
事業費	8,933万円		
財源	補助		
	借金		
	市	8,933万円	
<p>学ぶ意欲と習慣を高めるため、学習環境の整備，学校図書館指導員の配置日数増のほか，新たに算数支援教員を配置するなど，楽しくわかる多様な学びづくりを推進します。</p>			

国際理解教育に関する事業		P450	
担当課	指導課		
事業費	1億953万円		
財源	補助		
	借金		
	市	1億953万円	
<p>平成32年度からの英語教育改革に向けて、小中学校の外国語活動における人的支援を強化します。</p>			

拡大


拡大

放課後子ども教室の推進		P489	
担当課	生涯学習課		
事業費	3,107万円		
財源	補助	704万円	
	借金		
	市	2,403万円	
<p>学習習慣の定着を目指して、放課後に補充学習を行うステップアップ学習会と，様々な体験型講座を提供する夏休み子ども教室を実施します。</p>			


学力学習状況調査		P458	
担当課	学校教育課		
事業費	3,041万円		
財源	補助		
	借金		
	市	3,041万円	
<p>児童生徒の学力や意欲・習慣の定着状況を把握するとともに、「つまずき」の傾向を把握することで、指導の改善を図ります。</p>			

新規


私立認可保育所等の整備		P252		
	担当課	保育整備課		
	事業費	12億8,953万円		
	財源	補助	10億9,788万円	
		借金		
市		1億9,165万円		
待機児童の解消のため、私立認可保育園・認定こども園（計5園）を整備します。				

豊四季保育園整備事業		P555		
	担当課	保育運営課		
	事業費	平成31年度より		
	財源	補助		
		借金		
市				
豊四季保育園を整備します（平成31年度から債務負担にて賃借：事業費（建物）8億1,378万円）。				


拡大

保育士人材確保の支援		P250・252		
	担当課	保育運営課		
	事業費	4億6,748万円		
	財源	補助	1億2,941万円	
		借金		
市		3億3,807万円		
私立保育所等に勤務する保育士の処遇改善や、保育士用宿舍借上げ費用に対して、補助金を交付するほか、合同就職説明会などの取組みを推進します。				


拡大

私立保育所・認定こども園等への運営費補助		P252・481		
	担当課	保育運営課		
	事業費	7億5,842万円		
	財源	補助	1億2,289万円	
		借金		
市		6億3,553万円		
保育環境の整備及び円滑な保育の実施のため、私立保育所・認定こども園・小規模保育事業・事業所内保育事業の運営費補助を実施します。				

拡大

産後ケア		P235		
	担当課	こども福祉課		
	事業費	1,095万円		
	財源	補助	547万円	
		借金		
市		548万円		
出産後間もない母子に対して、心身のケアや育児のサポートを実施します。				

拡大

子育て世代包括支援センター		P310		
	担当課	地域保健課		
	事業費	4,034万円		
	財源	補助	2,283万円	
		借金		
市		1,751万円		
妊娠から子育てに関する情報提供・相談体制の充実のため、総合相談窓口を増設します（新設1箇所、拡大1箇所）。				

児童の「つまずき」解消を目的として、指導方法の改善に取り組みます！

学力学習状況調査の結果分析を基につまずきやすい学習を把握します。


つまずきやすい学習とその解消に向けた指導の改善策を学校に提供します。


算数支援教員を配置し、担任と協働で個に応じた学習支援を行います。

子ども一人一人に「わかった！できた！」を実感させ、学ぶ意欲と学ぶ習慣を育みます。


Ⅱ 健康・サポート

拡大


がんの早期発見		P313	
	担当課	健康増進課	
	事業費	4億2,026万円	
財源	補助	384万円	
	借金		
	市	4億1,642万円	
がんの早期発見に向けて、検診メニューを拡充します。			

(介護会計) 介護予防事業		P673	
	担当課	地域包括支援課 / 福祉政策課	
	事業費	7,158万円	
財源	補助	2,392万円	
	借金		
	市	4,766万円	
介護予防センターの機能強化を図るとともに、各種フレイル予防事業の普及啓発や人材育成等を通じて、地域ぐるみのフレイル予防活動を支援します。			


拡大


特別養護老人ホーム等の整備		P184	
	担当課	高齢者支援課	
	事業費	3億6,384万円	
財源	補助	3億6,384万円	
	借金		
	市		
特別養護老人ホームや認知症対応型グループホームの整備や開設準備をする場合に補助金を交付します。			

拡大

介護人材の確保		P179	
	担当課	高齢者支援課	
	事業費	416万円	
財源	補助	225万円	
	借金		
	市	191万円	
介護人材の確保のため、相談会や就活イベントを開催します。また、新たに介護職員初任者研修の受講料補助を実施します。			

拡大

障害者の地域生活を支える拠点機能の整備		P221	
	担当課	障害福祉課	
	事業費	1億5,000万円	
財源	補助	1億円	
	借金		
	市	5,000万円	
障害のある方が安心して生活するために、困りごと相談、緊急時の手助け、住む場所の支援などを一体的に行う施設整備を支援します。			

障害者相談支援（機能強化）事業		P226	
	担当課	障害者相談支援室	
	事業費	5,637万円	
財源	補助	1,807万円	
	借金		
	市	3,830万円	
専門の事業所に「地域生活コーディネーター」を配置し、障害のある方への相談支援を行います。また、虐待等への支援のため、24時間対応の相談受付等を行う事業所を増設します。			


フレイル予防を推進します！

加齢により心身の活力（筋力、認知機能、社会とのつながりなど）が低下した状態を「フレイル」といいます。柏市では、フレイル予防の3つの柱「栄養（食・口腔機能）・運動・社会参加」に着目した介護予防講座や人材育成を行い、身近な地域で気軽にフレイル予防に取り組めるよう推進していきます。

Ⅲ 経済・活力

拡大

公民学連携によるまちづくりの推進		P396		
	担当課	中心市街地整備課		
	事業費	1,233万円		
	財源	補助		
		借金		
市		1,233万円		
柏駅周辺地域で、公民学連携によるまちづくりを推進します。				

柏北部地域のまちづくりの推進		P399・400		
	担当課	北部整備課		
	事業費	3億3,961万円		
	財源	補助		
		借金	1億8,200万円	
市		1億5,761万円		
つくばエクスプレス沿線地域における土地区画整理事業を進めていきます。				


拡大

手賀沼アグリビジネスパーク事業		P344・345		
	担当課	農政課		
	事業費	16億347万円		
	財源	補助	1億4,332万円	
		借金	13億2,140万円	
市		1億3,875万円		
手賀沼周辺地域の活性化のため、道の駅しょうなんの拡張整備や地域資源の活用などを官民連携で進めていきます。				




Ⅳ 地域のちから


新規


図書館のあり方策定		P485		
	担当課	生涯学習課		
	事業費	962万円		
	財源	補助		
		借金		
市		962万円		
今後の図書館政策の方針を検討するため、市民ワークショップなどを実施します。				

拡大

音楽の街かしの創出		P489		
	担当課	文化課		
	事業費	563万円		
	財源	補助		
		借金		
市		563万円		
市民が気軽に音楽に触れ、楽しむことができる機会を増やします。				

V 環境・社会基盤

谷津田保全事業		P283		
	担当課	環境政策課		
	事業費	400万円		
	財源	補助		
		借金		
市		400万円		
生物多様性の観点から重要な谷津環境を保全する取組を進めます。				

クールチョイス事業		P285		
	担当課	環境政策課		
	事業費	1,000万円		
	財源	補助	1,000万円	
		借金		
市				
省エネ・低炭素型の製品・サービス・行動等，地球温暖化対策につながる「賢い選択」を啓発します。				

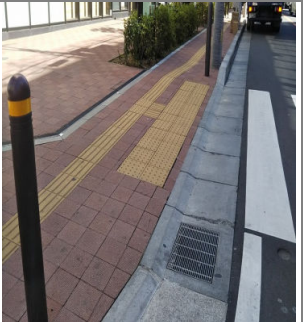
新規

都市公園整備事業		P418		
	担当課	公園管理課		
	事業費	1,238万円		
	財源	補助		
		借金		
市		1,238万円		
小規模公園のリニューアル工事や，北柏ふるさと公園じゃぶじゃぶ池の改修設計を実施します。				


拡大

都市・防災公園の整備		P414～416		
	担当課	公園緑政課		
	事業費	6億2,606万円		
	財源	補助	2億3,500万円	
		借金	2億3,860万円	
市		1億5,246万円		
柏北部地区6箇所，高柳地区に都市公園を整備するほか，（仮称）篠籠田防災公園及び（仮称）幸谷城館跡公園の整備を行います。				

拡大

バリアフリー道路特定事業		P386		
	担当課	道路保全課		
	事業費	1億832万円		
	財源	補助	5,956万円	
		借金	4,370万円	
市		506万円		
駅周辺等を重点整備地区としたバリアフリー経路を整備します。				


拡大

駐輪場の整備		P373		
	担当課	交通施設課		
	事業費	2億2,541万円		
	財源	補助	1億円	
		借金	9,000万円	
市		3,541万円		
高柳駅西側駐輪場整備を実施するほか，増尾駅西口第一駐輪場改修設計を実施します。				




Ⅵ 安全・安心

拡大

消防車両及び資機材等の更新		P438		
	担当課	警防課		
	事業費	1億3,420万円		
	財源	補助	1,764万円	
		借金	6,530万円	
		市	5,126万円	

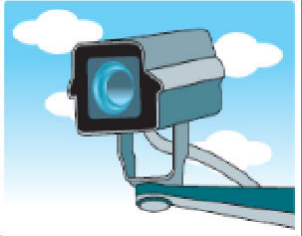
消防力の維持向上を図るため、老朽化が進行した消防車両及び資機材等の更新を実施します。

拡大

消防団活動の確保		P436・437		
	担当課	消防団課		
	事業費	1,213万円		
	財源	補助	202万円	
		借金		
		市	1,011万円	

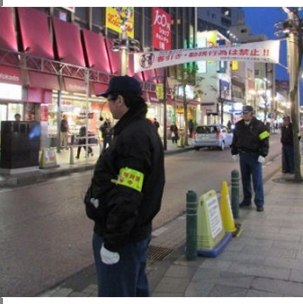
消防団活動の確保を目的として、新基準の活動服を導入します。

拡大

街頭防犯カメラの設置		P137		
	担当課	防災安全課		
	事業費	1,215万円		
	財源	補助	600万円	
		借金		
		市	615万円	

防犯カメラの更新及び移設を実施するほか、新たに町会・自治会等が防犯カメラを設置する費用の一部を補助します。

新規


客引き等対策事業		P138		
	担当課	防災安全課		
	事業費	4,593万円		
	財源	補助		
		借金		
		市	4,593万円	

安全安心な地域社会の実現のため、柏駅周辺を中心に客引き等対策事業を実施します。

Ⅶ マネジメント


持続可能な行政経営の実現

新規

パスポートセンター事業		P151		
	担当課	パスポートセンター		
	事業費	1億3,136万円		
	財源	補助	170万円	
		借金		
		市	1億2,966万円	


パスポート申請の利便性向上のため、県より権限移譲を受け、市単独のパスポートセンターを開設します。


新規


楽器輸送業務の委託		P466・472		
	担当課	学校財務室		
	事業費	586万円		
	財源	補助		
		借金		
		市	586万円	


教職員の負担軽減のため、小中学校の地域行事や県大会参加時の楽器運搬を教職員の運転から運搬業者へ委託化します。

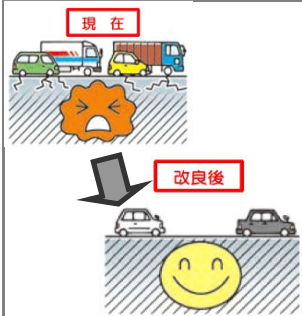
公共施設等の最適化

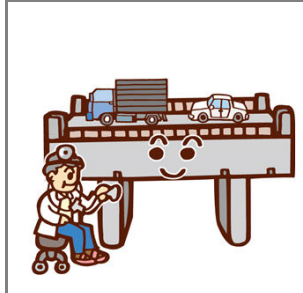
学校施設の長寿命化対策		P468・473		
	担当課	学校施設課		
	事業費	4億3,100万円		
	財源	補助	4,495万円	
		借金	2億3,490万円	
市		1億5,115万円		
屋内運動場の長寿命化対策の他、モデル校である土小学校校舎の長寿命化改良工事の実施設計を行います。				

近隣センターの改修		P202・205		
	担当課	地域支援課		
	事業費	1億2,901万円		
	財源	補助		
		借金		
市		1億2,901万円		
老朽化対応のため、トイレ改修工事の他、今後の改修方法の検討を行います。				

文化施設の修繕等		P186		
	担当課	地域支援課		
	事業費	1億6,497万円		
	財源	補助		
		借金		
市		1億6,497万円		
アミューゼ柏及び市民文化会館の修繕・改修工事を実施します。				

リサイクルプラザ長寿命化工事		P334		
	担当課	廃棄物政策課		
	事業費	2億6,750万円		
	財源	補助		
		借金	2億60万円	
市		6,690万円		
公共施設等の計画的な保全のため、リサイクルプラザの長寿命化工事を実施します。				

道路改良		P385		
	担当課	道路保全課		
	事業費	11億722万円		
	財源	補助	4億9,500万円	
		借金	3億6,450万円	
市		2億4,772万円		
道路の老朽化対策として、舗装や路面排水の整備を行います。				

橋梁の長寿命化		P386・387		
	担当課	道路保全課		
	事業費	5億2,195万円		
	財源	補助	2億4,040万円	
		借金	1億5,970万円	
市		1億2,185万円		
橋を定期的に点検診断し計画的に維持補修することで、長寿命化を図ります。				

公共施設マネジメントに取り組みます！

近隣センターや学校、道路・下水道など、公共施設等の老朽化が進んでいます。今後、対策に多額の費用が見込まれる中、良好な状態で次世代に引き継ぐことは重要な課題です。市では、施設機能の見直しや統廃合なども視野に入れながら、長寿命化工事などの計画的な保全を進め、費用の縮減と安全性の確保、市民サービスの維持向上に努めていきます。

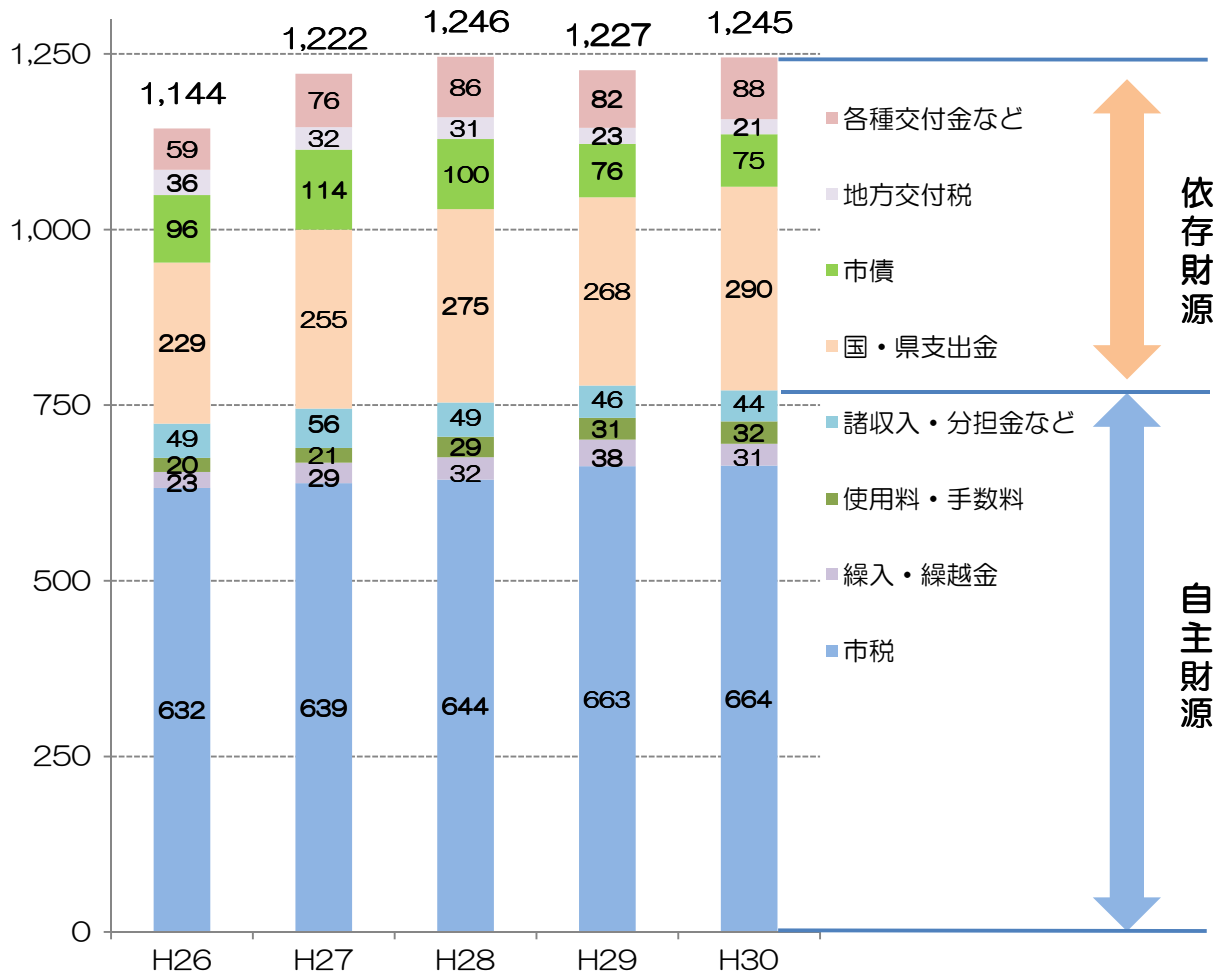


資料集

資料① 一般会計歳入の推移（当初予算比）

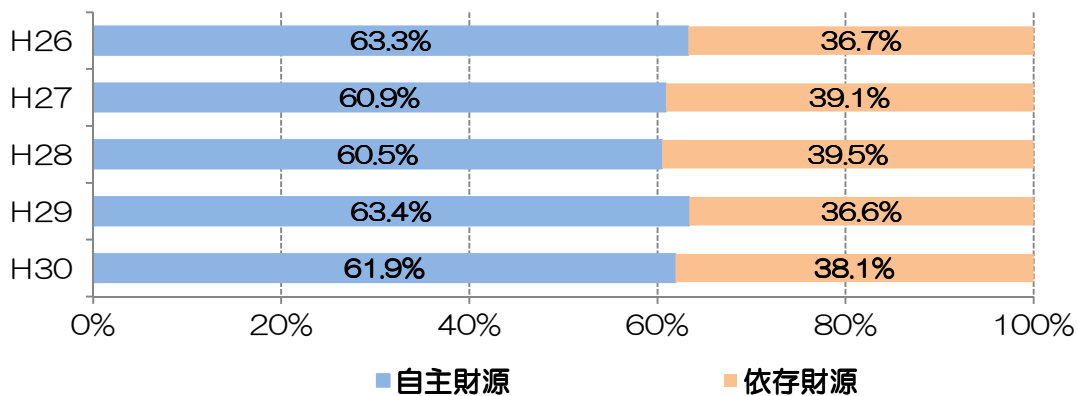
■一般会計 歳入の推移

（単位：億円）



市独自の事業を多く行うことができるよう、「自主財源」を増やす施策に取り組めます。

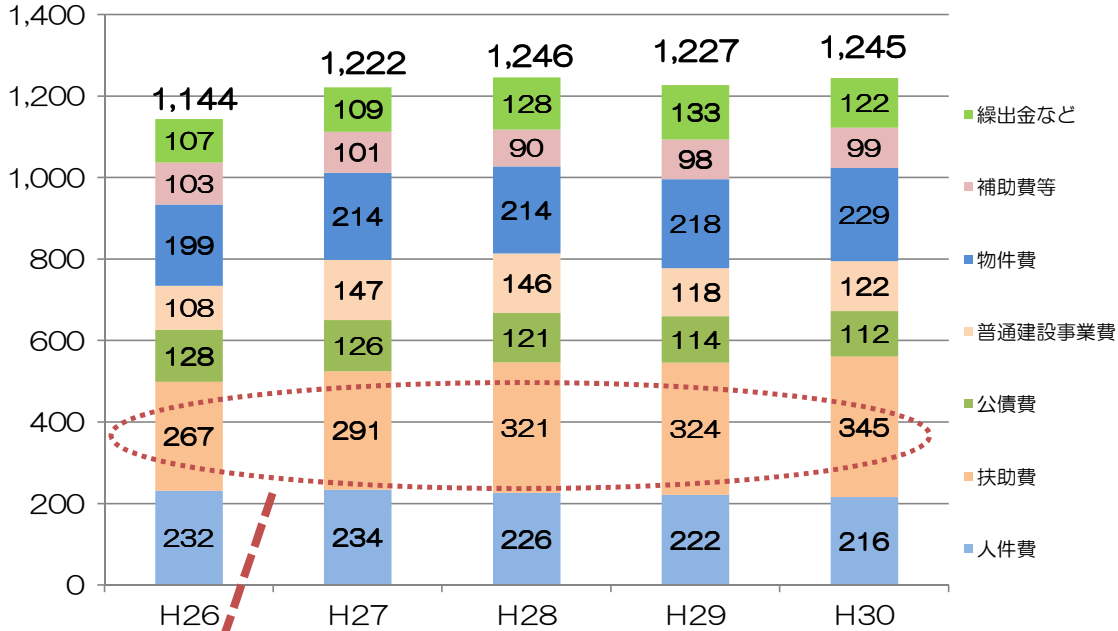
■一般会計 財源の推移



資料② 一般会計歳出と扶助費の推移（当初予算比）

■一般会計 歳出の推移

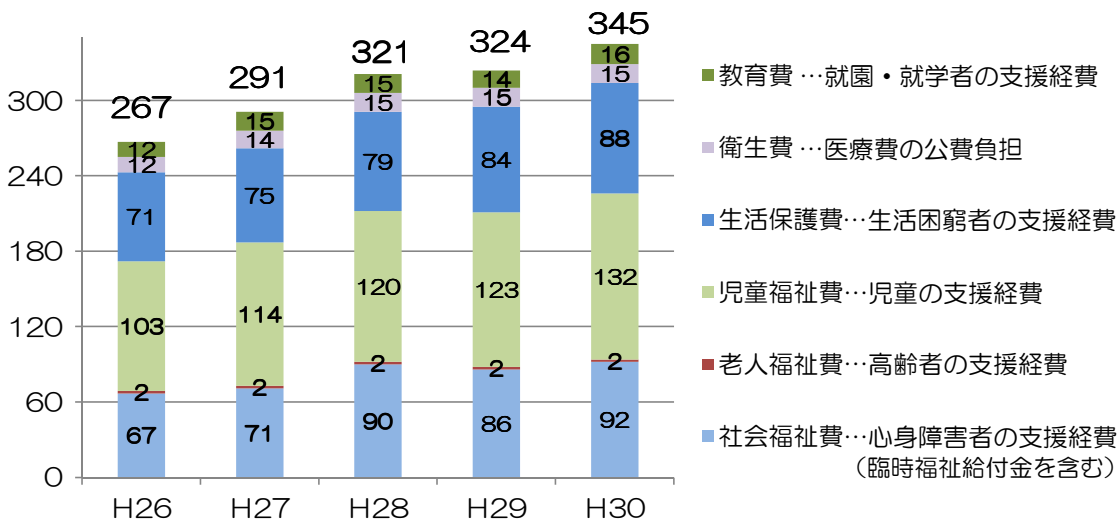
（単位：億円）



少子高齢化の進展などにより扶助費が増加傾向にあります。平成30年度は、社会福祉費が約6億円、児童福祉費が約9億円増えるなどし、全体で約21億円の増となっています。

■扶助費の内訳

（単位：億円）



老人福祉が少ないのは、後期高齢者医療や介護保険などの事業が、別の会計で処理されているためです。

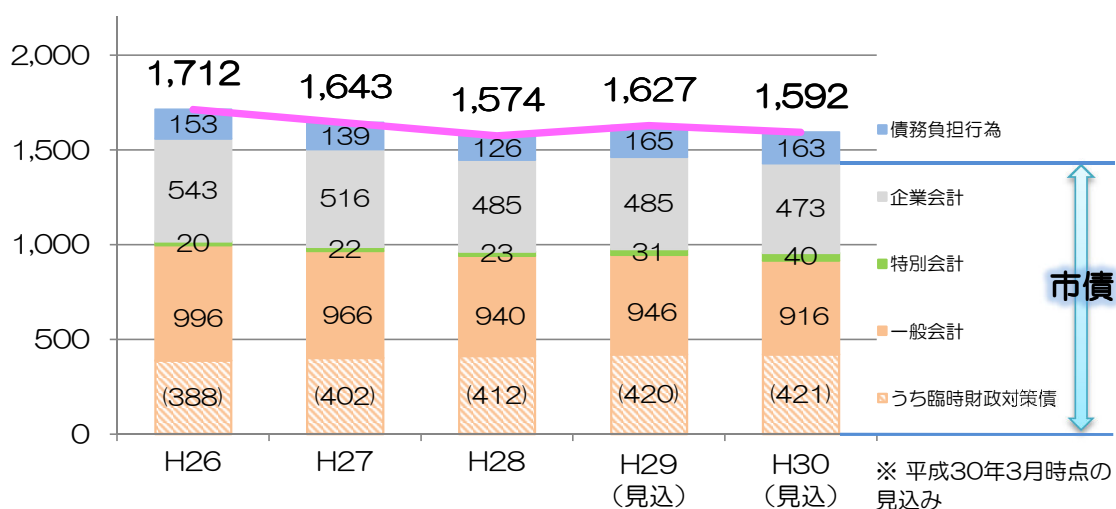
資料③ 柏市の債務（市債など）の残高

市全体の平成30年度末の債務残高は、約1,592億円になる見込みです。そのうち、一般会計・特別会計・企業会計を合わせた市債残高（借金）は約1,429億円で、将来の支払いを約束した債務負担行為は約163億円です（債務負担行為は、主に土地開発公社に先買いを依頼した土地を市が買い戻すための支払いです）。

将来世代に負担を残さないよう「返す以上に借りない」ことを基本に新規の借入れを抑制したため、債務残高は前年度比約35億円の減を見込んでいます。

■債務残高の推移

（単位：億円）



❓ どうして借金をするの？

市債（借金）には、「毎年の支出を平均にする役割」と「現在の市民と将来の市民の負担を公平にする役割」があります。

学校や道路などの公共施設の建設には、一時期に多額のお金が必要になります。これをその年度の収入だけで賄ってしまうと、他の事業ができなくなってしまいます。また、公共施設は現在の市民だけでなく、長期間にわたって将来の市民も利用するものであるため、公平にその費用を負担してもらうという意味から市債を活用しています。

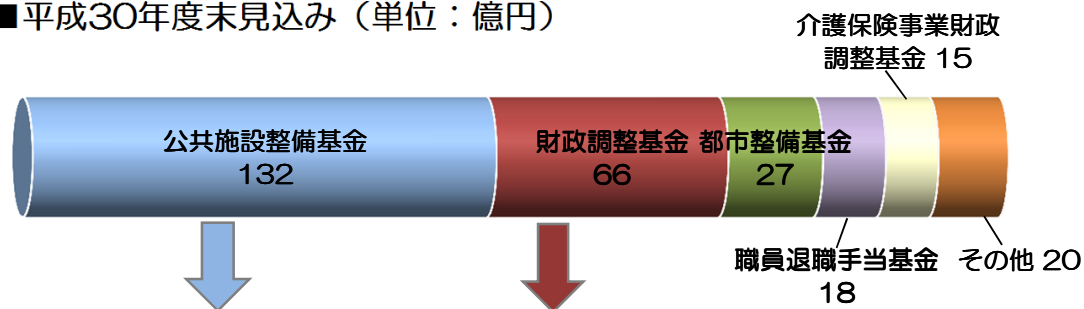
❓ 増えている臨時財政対策債とは？

臨時財政対策債は、本来は地方交付税として国から交付されるべきお金を、市が一時的に借金をして立て替えているものです。借金の返済にあたっては、国から分割してお金が交付される仕組みですが、返済するまでは市の債務として計上されます。

資料④ 柏市の基金（貯金）残高

市全体の平成30年度末の基金残高は、約278億円になる見込みです。基金は特定の目的達成や財源不足を補うために設けています。柏市の歳入・歳出予算には、その取崩しや積立が含まれています。

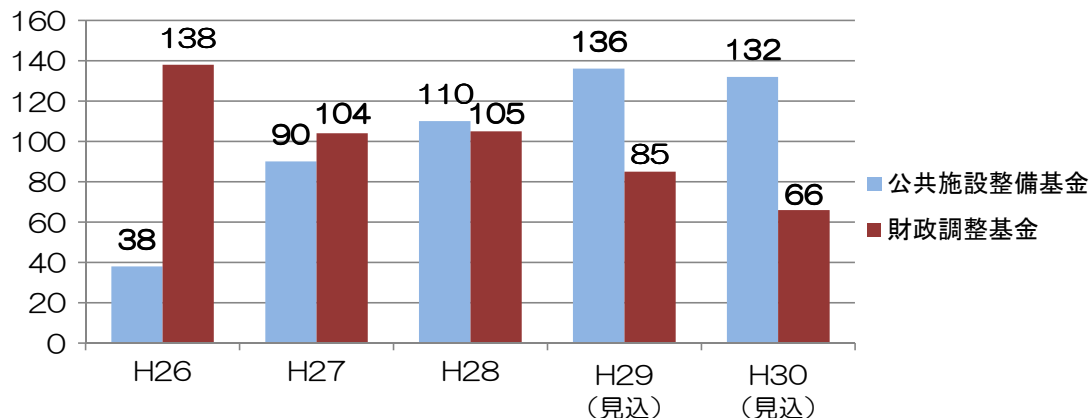
■平成30年度末見込み（単位：億円）



公共施設整備基金は、老朽化した公共施設の改修や更新に伴う財政負担に備えるためのものです。一方、**財政調整基金**は、景気の変動や国の制度改革による収入の減少、災害などの突如の支出に備えるためのものです。

■公共施設整備基金・財政調整基金残高の推移

(単位：億円)

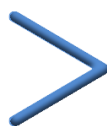


■市民1人当たりの債務と貯金

平成30年度末の見込額を平成30年3月1日現在の常住人口421,864人で割ると…



市民1人当たりの債務残高は
約37万7,000円



市民1人当たりの基金残高は
約6万6,000円

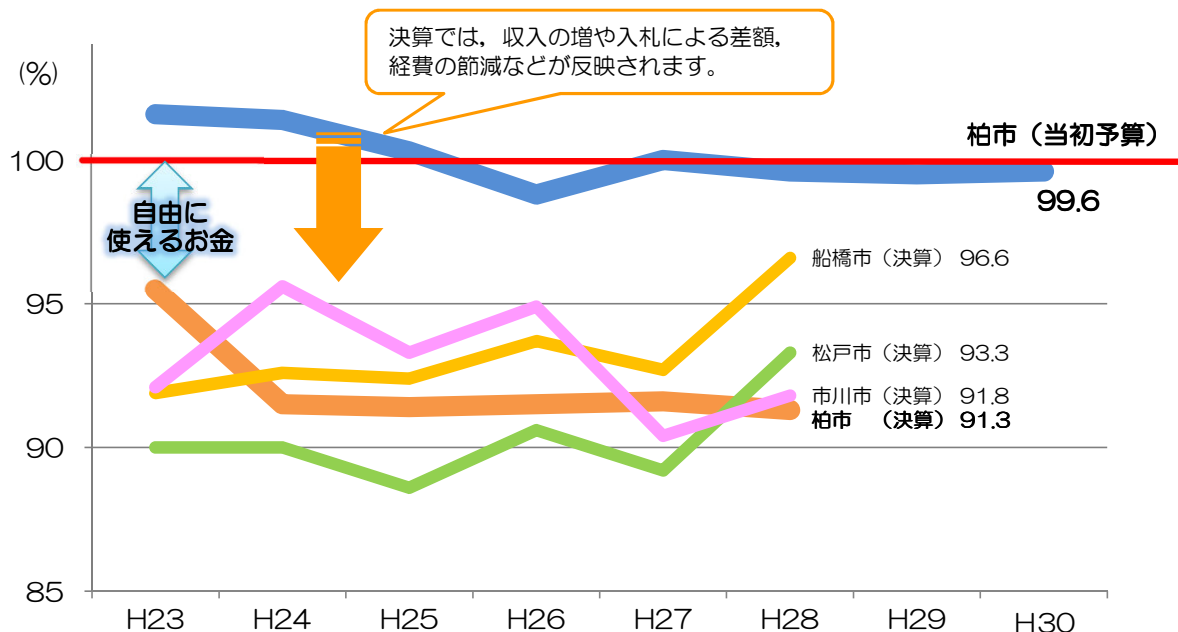
資料⑤ 各種財政指標の推移（普通会計※ベース）

■ 経常収支比率の推移

「経常収支比率」は、財政の硬直化を示す指標ですが、見方を変えると「自由に使えるお金がどれくらいあるか」を示す指標になり、財政の余力（ゆとり）を測ることができます。

比率は、市税など毎年度決まって収入されるお金が、人件費、公債費、扶助費などの必ず支払わなければならない経費にどれくらい使われているかを示していて、数値が低いほど財政に余裕があるというものです。

近年は、市税収入が横ばいの中、扶助費などが増加しているため、当初予算では経常収支比率が100%前後で推移しています。そのため、基金（貯金）の取崩しを見込んで予算を編成しています。一方、決算では、経費の節約などにより基金を取り崩さないよう運営していきます。



★ 数値について…

一般的に市では70~80%程度が望ましいと考えられていて、80%を超えると財政に余裕がないと言われています。自由に使えるお金が少ないと、社会情勢の変化や市民のニーズに対してすぐに対応できないため、「財政に弾力性がない」とか「財政が硬直化している」といいます。

★ 家計に例えると

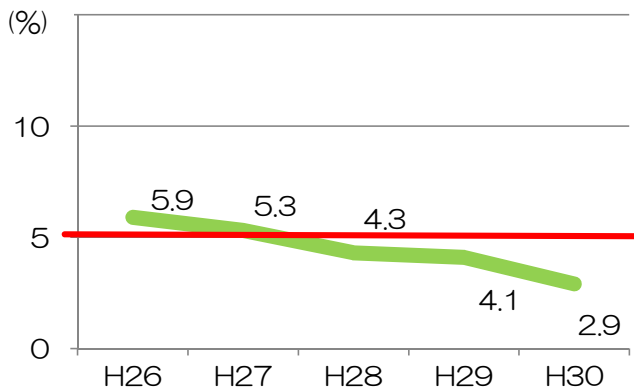
給料に占める食費やローン返済額の割合のようなもので、比率が低ければ自由に使えるお金が多くなるというものです。比率が100%を超えるということは、食費などの決まった支払いだけで給料がすべて出ていってしまい、貯金や借金に頼らないと家計が成り立たないことを表します。

※普通会計とは、他市との比較に使う会計です。柏市の普通会計は、一般会計に特別会計のうち公共用地取得事業、北柏駅北口土地区画整理事業、学校給食センター事業、母子父子寡婦福祉資金事業の4つの会計を合わせたものです。

■実質公債費比率の推移

「実質公債費比率」は、借金の返済額が身の丈にあったものかどうかを判断する基準です。1年間の収入に対してその年の借金返済額がどれくらいの割合になるのか、借金返済の負担が大きすぎないかチェックするものです。

この割合が25%を超えるとイエローカードですが、柏市では基準値を5%に定めて、それを下回るように行財政運営を行います。



※平成28年度までは決算，平成29年度からは予算上の数値です。

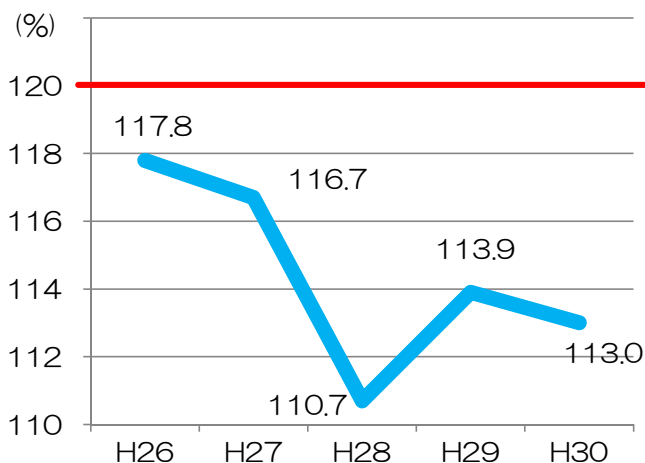
★ 家計に例えると

家や車のローン，クレジットカードで買い物をした支払いなどの返済額が，年収の25%以上となった場合は，借金潰れの可能性が高いということで危険信号です。

■市債残高比率の推移

「市債残高比率」は、借金の残高（貯金で返済可能な額を除く）が1年間の収入に対してどれくらいあるかを示す指標です。借金の大きさをわかりやすくお伝えするため、柏市が独自に設定したものです。

柏市では借金の残高を増やさないことを基本としていることから、今後も現状の水準を維持していくため、基準値を120%に定めて、行財政運営を行っています。









※平成28年度までは決算，平成29年度からは予算上の数値です。

比率が120%の場合，貯金で返せる分を除いた借金の総額が，市税など通常見込まれる1年間の収入の1.2倍あることとなります。



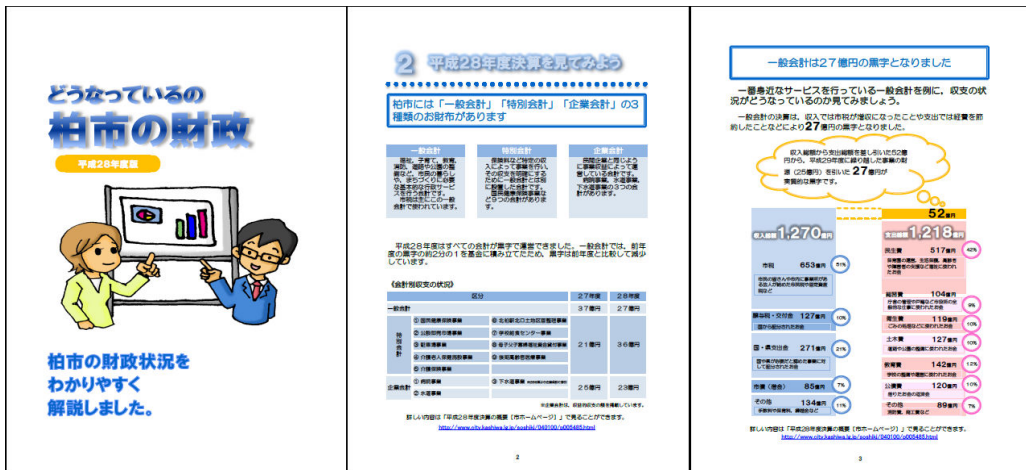
●ホームページでは、次の情報を公表しています。

ホーム → 市政・広報 → 財政

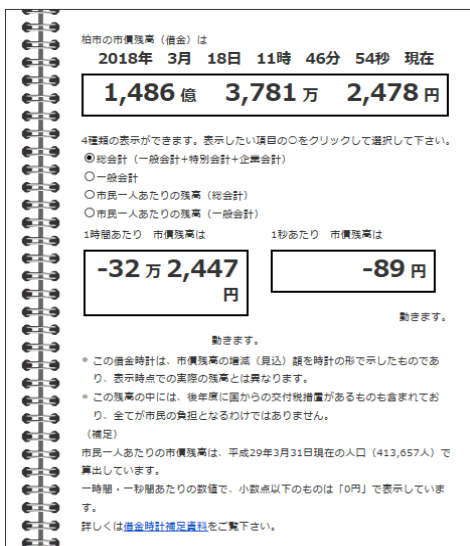
-  予算 → わかりやすい予算，各年度の予算
-  決算 → どうなっているの柏市の財政，決算概要，決算カード，決算報告書，補助金の交付状況，市税の推移
-  財政公表 → 柏市の借金時計，各年度の財政公表
-  財政指数・比較
-  財務書類（財務諸表）
-  柏市土地開発公社の財政状況

■ どうなっているの柏市の財政

決算を中心に、柏市の財政状況をわかりやすく解説しています。



■ 柏市の借金時計



詳しくは市ホームページで見ることができます。





「おいでよ!カシワニ」は、柏の街をPRし、盛り上げるため、かしわインフォメーションセンターが考案したオリジナルキャラクターです。

柏市のわかりやすい予算 平成30年度版

発行年月 平成30年3月

発行 柏市

お問い合わせ先 柏市 財政部 財政課

〒277-8505 千葉県柏市柏五丁目10番1号

電話 04-7167-1120

FAX 04-7167-1210